

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 354 『百尺竿頭』 ひやくしゃく かんとう

< 意味 > 百尺もある長い竿の意で、到達することのできる極点・最高点のこと。また、これ以上向上しえないという先端のこと。

< 出典 > 『景德伝灯録』一〇

表 言 : ◎百尺竿頭一步を進めて ◎百尺竿頭をきわめる

用 例 : 彼はもはや、一步も踏み出せぬ百尺竿頭に、我と我が身を追いつめたのだ。

< 杉本苑子・決断のとき >

語 釈 : 「百尺」は約30メートルの長さ。「竿頭」は竿の先。「百尺竿頭一步を進む」という形で用い、すでに工夫を尽くしたうえにさらに先に進むことで、いっそう向上の工夫を加える意。

一 言 : この四字熟語を見て大谷翔平のことを思い起こしたのですが、世界中で「アメイジング！」と称賛される彼の活躍をこの古い言葉で言い表すのは変でしょうか。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」